

## 「日本から世界へ 『夜景観光の可能性』」

丸々もとお氏

夜景評論家／夜景観光コンベンション・ビューロー代表理事

小学生で夜景に魅せられ、好きが高じて職業にまでしてしまった人物が、今回の講師を務めてくださった丸々もとおさんです。夜景は集客力の高さから観光コンテンツとしても注目度が上昇中。とはいえ旅行業界内にはまだ、夜景観光の専門家は見当たりません。「夜景評論家」なる肩書を、おそらく世界の誰よりも早く名乗った丸々さんに、全国各地で人気を集める夜景観光の現状や、その可能性と将来像について教えていただきました。

### 夜景がもたらす価値と意義

夜景は観光資源として大変魅力的です。夜の観光なので基本的に宿泊が伴いますから、夕食や翌朝の朝食・昼食、土産物の購入などを、宿泊した地域で消費する率が高まり、地域にとっての経済効果は上がります。また工場夜景のように観光資源とは見なされなかった存在が視点を変えて資源化できたり、名月観賞など無料で楽しめるコンテンツが多いのも特徴です。

日本人は夜景への関心が、他国より高い点にも注目です。日本では「世界三大夜景」や「百万ドルの夜景」といった表現が浸透していますが、世界三大に挙がるナポリで尋ねても、それを知る人は多くありません。

日本人は夜景が大好きな民族です。夜祭の数は世界一ですし、月見や送り火の伝統があり、桂離宮には「月見台」が建築設計に組み込まれています。平安文学には月見など夜の題材を取り上げた作品が少なく



ありません。

日本は四季で異なる夜景観光の商品造成が可能です。春の夜桜、夏の花火、秋の紅葉ライトアップ、冬のクリスマスイルミネーションや雪を背景とした景色のライトアップなどが楽しめ、夜景は通年で商品化できるコンテンツとなっています。

夜景は夜型観光に含まれますが、夜景以

外の夜型観光とは違います。夜型観光の音楽ライブや飲食等は楽しむ条件に場所は必須ではありません。しかしライトアップやイルミネーション、花火、夜祭、工場夜景等の夜景観光は、その場へ行かなければ楽しめない点で大きな違いがあるのです。

## 自治体がこぞって求める夜景観光

私が代表理事を務める夜景観光コンベンション・ビューローでは、「日本夜景遺産」や「日本百名月」などを認定しています。その一つ「世界新三大夜景」には長崎が名を連ねています。長崎の夜景観光の中心である稲佐山では、ロープウェイの行列が週末の恒例となり、頂上は人で溢れています。しかし 08 年に市が夜景観光に力を入れ始める前の状況は惨憺たるもの。ロープウェイ廃止も検討されるほどでした。それが今では国内外から夜景に惹かれた観光客が長崎を大挙して訪問。市の試算では夜景効果がほぼゼロだった 08 年以前と比較し年間 150 億円以上の経済効果が新たに生み出され、客単価は 10 倍に拡大しています。

この長崎モデルの成功が他自治体の注目を集め、多くの自治体が夜景観光に力を注ぎ始めました。札幌市は日本新三大夜景に認定されており、藻岩山のロープウェイは乗降客数が 20～25% 向上。大倉山スキー場は夜間運転を始めました。足利市は栃木県の県政 150 周年の記念行事として 11 月に「夜景サミット 2023 in 足利」を開催し、国宝鏝阿寺のライトアップや映像イベントにも取り組みます。史跡足利学校のライトアップも含め、あしかがフラワーパークへ集まる来訪客の回遊促進が狙いです。

藤沢市は市と江ノ電鉄等が湘南藤沢ナイトツーリズム推進協議会を立ち上げ、夜景観光にも注力。冬の江ノ島をイルミネーション「湘南の宝石」で飾り、関東三大イルミネーションにも選出された成果は目覚ましく、夏のリゾートとして認知されてきた江ノ島が、今では冬の来訪客の方が多いほどです。他にも全国各自治体が夜景観光に乗り出し戦国時代を迎えています。

## 夜景観光の未来と、あるべき姿

夜景観光もエコやサステナビリティに配慮した取り組みが必要になっています。夜景と観光と環境の「三方良し」の関係性が求められます。そのため新たな試みも始まっています。たとえば植物に棲む微生物が成長の過程で生み出す微弱な電流を照明に利用する挑戦や、干潟の微生物から電気を得る仕組み作りも進んでいます。

また弊社でも、日本で初めて損耗したイルミネーション（全メーカー）のリサイクルシステムを確立し、資源としての銅の回収・再利用を進めています。

### <Profile>

まるまる・もとお●1965 年生まれ。小学生時代に訪れた山梨で素晴らしい夜景を見た感動体験が忘れられなくなり、夜景関連情報の収集を始める。立教大学社会学部観光学科卒業後、ぴあやリクルートなどで記者や編集者を務める傍ら、夜景に関する多くの著作を発表。02 年に独立。夜景観光のパイオニアとして活動中。全国の自治体で夜景観光アドバイザーを歴任。イルミネーションや光のイベントのプロデューサーとしても活躍している。

